

新修国語総覧

〈三訂版〉

務 茂 二
馬 山 野 謙
江 谷 猪

京都書房

新修国語総覧

三訂版

務茂二
馬山野 謙
江谷猪

京都書房

「新修国語総覧」編集委員会

〔代表〕

京都女子大学名誉教授
前日本民俗史学会会長

大阪市立大学名誉教授
文学博士

神戸大学名誉教授
学習院大学教授

〔編集総括〕
大阪歯科大学教授

〔編集委員〕

〔服飾図制作〕
〔写真撮影〕

〔制作担当〕

吉田政光	加納恒彦	牧藤静香	首藤哲郎	矢野貫一	森本茂	谷垣伊太	相楽俊	金森光昭	小谷政三	内田清	市村伊平	本多謙二	猪野茂	谷山	江馬務
------	------	------	------	------	-----	------	-----	------	------	-----	------	------	-----	----	-----

新修国語総覧 三訂版

定価 600 円

1977年1月20日 初版 第1刷発行
1979年1月10日 増補 第1刷発行
1981年1月10日 新訂増補第1刷発行
1986年1月10日 三訂版 第1刷発行

〔新国語総覧〕
1969年3月1日 初版 発行
1971年2月20日 改訂増補発行
1974年2月20日 二訂版 発行

著者との協
定により検
印を廃す

©
1977.1

江馬務
編者代表 谷山茂
猪野謙二
発行者 金岡昭治

発行所
株式会社 京都書房

京都市上京区河原町通丸太町上ル
電話 京都 (075)231-0121 番
郵便番号602 振替京都 1-3940 番

(落丁乱丁本はおとりかえいたします)

印刷・製本 株式会社 大洋社

ISBN 4-7637-0103-7 C 7591 ¥600 E

本書の内容を無断でコピーすることは、著者
および出版社の権利侵害になることがありま
すので、前もって当社の許諾を受けて下さい。

高等学校の「国語」に課せられた使命の重大さはいうまでもない。しかし、国語教育の現場からすると、「国語」の教科書に盛りこまれた教材が広範多岐にわたっていること、またそれに比しては国語に割り当てられた授業時数が少ないことなどのために、往々にして断片的な雑学的学習に終わるおそれがある。そういう困難を克服して、学習者各自が「国語」の体系的な良識、良識のある「国語」の体系を獲得するためには、必然的に「国語」のすべてを的確妥当に総覧しうるような補助教材ないし参考書が国語教育にも学習者個人の机辺にも必要になってくる。

そういう要請にこたえて、当社が年来企画刊行した『新国語総覧』は、幸いに各方面からの熱心な賛同を得て、好評裡に版を重ね、現在は全国の高等学校において圧倒的に使用されるに至っている。まことに感謝に堪えない。しかしながら、編者としては今日のこの成果にあまんじることなく、利用者各位のご希望と編集委員会内部の絶えざる自己批判にもとづいて、当然のことながら、鋭意よりよいものを生み出したいと念願しつづけている。よって、このたびは、委員会代表に新しく猪野謙二氏を加え、編集執筆スタッフにも新鋭を導入して、今ここに全く面目を一新した『新修国語総覧』を刊行するしだいである。その内容と形態の新しい企画と充足は、必ずや国語学習者の座右の書として、ご期待に十分に添いうるものと確信している。

一九七七年一月十日

「三訂版」刊行にあたって

今回の改訂の重点は、「漢文学」の項を総組み替えして、新体漢字による漢文学習に適合するよう図ると共に、新工夫をこらして学習の成果が更に上がるようにしたことである。また、「漢文学」以外の項目についても、自学自習が興味をもって容易にできるよう、組み体裁を改めるなど、一層の充実につとめた。

一九八六年一月十日

『新修国語総覧』編集委員会

旧国名・
県名対照図

〔五街道図〕

……〔前見返し〕
古文学習早見表

……〔前見返し裏〕
はしがき……………二

目次……………二

総合索引……………四

〔漢文索引〕……………三

図録と文学地図 三二七

● 古典文学 ●

古典文学の背景……………一五

装束……………二〇

男子(二〇) 女子(二四) 武人(三三)

襲ね色目……………二六

建物 清涼殿 寝殿造 建物の部分……………二七

調度・楽器 〔食事・燈燭・遊戯具〕……………二八

乗り物 牛車・輿……………二九

武器・馬具……………三〇

能楽・狂言・歌舞伎・文楽〔浄瑠璃〕……………三一

近世の貨幣……………三二

古典に見えぬ植物 〔春・秋の七草〕……………三三

古典に見えぬ動物 鳥・虫……………三四

大和奈良付近図 〔奈良市街〕……………三五

京都付近図・京都市街図……………三六

近世の江戸・大坂市街図……………三七

平安京・大内裏・内裏の図……………三八

万葉集地図 〔古代歌謡〕……………三九

和歌〔歌枕〕地図……………四〇

土佐日記・更級日記地図……………四一

平家物語地図……………四二

俳句・俳文地図 〔近江八景〕……………四三

● 近代文学 ●

近代文学の背景……………四四

近代文学地図……………四五

北海道〔六三〕 東北・関東〔六四〕 東京〔六五〕 甲

信越・東海〔六六〕 北陸・中部〔六七〕 近畿〔六八〕

京都・奈良〔六九〕 中国・四国〔七〇〕 九州〔七一〕

● 漢文学 ●

漢文学の背景……………七二

漢文参考図 服装 貨幣 器物 ほか……………七三

漢文学地図……………七四

古典文学 六二一

● 古典文学展開表 ●

古典文学理念一覧……………六二

古典文学史年表……………六三

● 古代・中世の和歌 ●

万葉集 〔万葉歌人の生没・皇室系図〕……………六四

古今和歌集・新古今和歌集……………六五

三大歌風の比較……………六六

勅撰和歌集〔二十一代集〕一覧……………六七

中世・近世歌人系譜……………六八

私撰集・私家集一覧……………六九

和歌の修辭技巧・枕詞一覧……………七〇

● 古代の物語 ●

竹取物語・伊勢物語……………七一

源氏物語……………七二

源氏物語人物系図……………七三

源氏物語年立表 〔源氏卷名一覧〕……………七四

主要物語解説……………七五

● 古代・中世の歴史・軍記物語 ●

大鏡の世界と年表……………七六

平家物語の世界と年表……………七七

古事記・日本書記 〔六国史と風土記〕……………七八

主要歴史・軍記物語解説 〔史書〕……………七九

藤原氏・平氏・源氏系図……………八〇

● 古代・中世の隨筆 ●

枕草子の世界と年表……………八一

方丈記の世界と長明年譜……………八二

徒然草の世界と兼好年譜……………八三

● 古代・中世の日記・紀行 ●

土佐日記の世界と年表……………八四

更級日記の世界と年表……………八五

蜻蛉日記の世界と年表……………八六

主要日記・紀行解説……………八七

● 古代・中世の説話 ●

主要説話文学解説……………八八

● 古代・中世の評論 ●

主要文学・芸能論解説……………八九

● 中世の演劇 ●

能楽・狂言台本一覧 〔世阿弥〕……………九〇

● 近世の小説・浄瑠璃・歌舞伎・隨筆 ●

西鶴の文学と年譜……………九一

近松の文学と年譜……………九二

主要小説解説……………九三

浄瑠璃・歌舞伎台本一覧……………九四

本居宣長の学問と年譜……………九五

近世隨筆・国学と歌解説……………九六

● 近世の俳諧・俳文・俳論 ●

芭蕉の文学と年譜……………九七

与謝蕪村・小林一茶の文学と年譜……………九八

主要俳諧・俳文・俳論解説……………九九

近世俳人系譜……………一〇〇

近世俳風の比較……………一〇一

連句の概要 〔連句の懷紙〕……………一〇二

主要季語一覧……………一〇三

● 古典の周辺 ●

官職一覧表……………一〇四

公家官制表・官人俸禄一覧表……………一〇五

主要年中行事……………一〇六

生涯の儀式と生活慣習……………一〇七

干・支一覧と月齢表……………一〇八

十二か月異名・二十四節氣一覧……………一〇九

古方位・古時刻早見表……………一〇

主要和漢名数一覧……………一一

単位呼称一覧 〔中国の度量衡〕……………一二

古典文芸用語一覧……………一三

近代文学

140—149

近代文学展開表……………

一七〇

近代文芸思潮一覽……………

一七三

近代文芸雑誌と掲載作品一覽……………

一七四

近代文学史年表……………

一七五

芥川賞・直木賞作家・作品一覽……………

一八〇

●現在ある主な文学賞

●近代小説

森鷗外の文学と年譜……………

一八六

夏目漱石の文学と年譜……………

一八八

島崎藤村の文学と年譜……………

一九〇

志賀直哉の文学と年譜……………

一九三

芥川龍之介の文学と年譜……………

一九四

谷崎潤一郎の文学と年譜……………

一九六

川端康成の文学と年譜……………

一九八

中島敦の文学と年譜……………

二〇〇

太宰治の文学と年譜……………

二〇二

伊藤整の文学と年譜……………

二〇三

樋口一葉の文学と年譜……………

二〇三

小林多喜二の文学と年譜……………

二〇三

井伏鱒二の文学と年譜……………

二〇四

井上靖の文学と年譜……………

二〇四

大岡昇平の文学と年譜……………

二〇五

安部公房の文学と年譜……………

二〇五

安岡章太郎の文学と年譜……………

二〇六

大江健三郎の文学と年譜……………

二〇六

主要作家・作品解説……………

二〇七

●近代詩

萩原朔太郎の文学と年譜……………

二二二

高村光太郎の文学と年譜……………

二二三

三好達治の文学と年譜……………

二二三

中原中也の文学と年譜……………

二二四

主要詩人・詩集解説……………

二二五

●近代短歌

斎藤茂吉の文学と年譜……………

二二八

与謝野晶子の文学と年譜……………

二二九

石川啄木の文学と年譜……………

二二九

主要歌人解説……………

二三〇

近代歌人系譜……………

二三二

●近代俳句

正岡子規の文学と年譜……………

二三三

主要俳人解説……………

二三三

近代俳人系譜……………

二三四

●近代評論

小林秀雄の評論と年譜……………

二三五

亀井勝一郎の評論と年譜……………

二三六

主要評論家・作品解説……………

二三七

●近代戯曲

主要劇作家解説……………

二三三

主要戯曲解説……………

二三三

●外国文学

外国文学主要作家・作品解説……………

二三三

●外国文学の流れ

ノーベル文学賞作家一覽……………

二三九

近代文芸用語解説……………

二四〇



漢文学

二四八—二五二

漢文歴史地図……………

二四八

中国古典文学展開表・王朝変遷表……………

二五〇

中国思想・學術の展開……………

二五〇

中国古典文学史年表……………

二五二

中国主要作者・作品解説(1)……………

二五二

中国主要作者・作品解説(2)……………

二五二

漢詩の概要……………

二五二

漢文の部首……………

二五二

漢文の構造……………

二五二

漢文の訓読……………

二五二

漢文の用字法……………

二五二

漢文の重要句形……………

二五二

中国主要故事成語解説……………

二五二

中国歴代主要官制一覽表……………

二五二

国語表現

二五二—二五三

国語の表現……………

二五二

文章の種類……………

二五三

文章の書き方……………

二五三

文章の修辭法……………

二五三

文章と文体……………

二五三

通信文の基本形式……………

二五三

補助記号の用法……………

二五三

話しことばの表現……………

二五三

改定送り仮名の付け方……………

二五三

文法

二五三—二五三

古典文法……………

二五三

口語文法……………

二五三

かなと国語の変遷……………

二五三

現代文学習早見表
……(後見返し裏)
歴代天皇・
年号一覽表
……(後見返し)

[illegible][illegible][illegible][illegible][illegible][illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible][illegible][illegible][illegible][illegible][illegible][illegible]

常服離	大八・六三・三〇	俗文的基本形式	三三
常服離	大八・六三・三〇	俗小說	二〇
常服離	大八・六三・三〇	召除目	二六
常服離	大八・六三・三〇	實庭離	六八
常服離	大八・六三・三〇	本邦雄	三三
常服離	大八・六三・三〇	國語	七・〇・二
常服離	大八・六三・三〇	地小劇場	三三
常服離	大八・六三・三〇	並調	四六
常服離	大八・六三・三〇	次祭	二〇
常服離	大八・六三・三〇	に於ける	二〇
常服離	大八・六三・三〇	き提督	三三
常服離	大八・六三・三〇	語和歌集	六八
常服離	大八・六三・三〇	山	二六
常服離	大八・六三・三〇	波鼓會	三三
常服離	大八・六三・三〇	波鼓會集	六八
常服離	大八・六三・三〇	波鼓會集	六八
常服離	大八・六三・三〇	邦生	二〇
常服離	大八・六三・三〇	幻術想行	二〇
常服離	大八・六三・三〇	井晚翠	二〇
常服離	大八・六三・三〇	井晚翠	二〇
常服離	大八・六三・三〇	屋文明	二〇
常服離	大八・六三・三〇	中納言物語	二〇
常服離	大八・六三・三〇	湘離	二〇
常服離	大八・六三・三〇	井繁治	二〇
常服離	大八・六三・三〇	内進齋	二〇
常服離	大八・六三・三〇	胡蝶	二〇
常服離	大八・六三・三〇	表求安	二〇
常服離	大八・六三・三〇	胡蝶	二〇
常服離	大八・六三・三〇	胡蝶	二〇

[illegible]

[illegible]

平野万里	三三二	平林たけ子	八一七	平林初之輔	八一六	ビルの脱獄	八一六	横濱毛織車	八一六	ヒロシマ・ノート	八一六	広津柳波	八一六	広津和歌集	八一六	風琴と魚の町	八一六	風雲伝	八一六	風雲文選	八一六	風知草	八一六	風流花	八一六	風流伝	八一六	ブルサイド小僧	八一六	不易流行	八一六	笛座前	八一六	笛柱	八一六	フォクナー	八一六	富郷百景	八一六	武具	八一六	福沢諭吉	八一六	横式能	八一六
------	-----	-------	-----	-------	-----	-------	-----	-------	-----	----------	-----	------	-----	-------	-----	--------	-----	-----	-----	------	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	---------	-----	------	-----	-----	-----	----	-----	-------	-----	------	-----	----	-----	------	-----	-----	-----

[illegible][illegible][illegible]

[illegible]

[illegible]

レ・ミゼラブル	二六〇	檸檬		國定	一八七・一八八	連歌	一八八・一八九	浪漫詩	一八七	朗歌	一八七・一八八
六条家	一八六	鹿鳴館	一八五	六条家	一八六	連歌新式	一八七・一八八	浪漫主義	一八七・一八八	浪漫主義	一八七・一八八
ロセツテイ	一八五	飛鳴館	一八四	六条家	一八六	連句の模倣	一八七・一八八	六番歌合	一八七・一八八	六番歌合	一八七・一八八
ルマン主義	一八三	魯迅	一八二	六条家	一八六	連句の概要	一八七・一八八	羅馬主義	一八三	羅馬主義	一八三
魯文・仮名垣魯文	一八二	ロマン・ローラン	一八一	六条家	一八六	連理秘抄	一八七・一八八	魯文・仮名垣魯文	一八二	魯文・仮名垣魯文	一八二
ラン・ローマン・ローン	一八一	論教	一八〇	六条家	一八六	連理秘抄	一八七・一八八	ラン・ローマン・ローン	一八一	ラン・ローマン・ローン	一八一
論文	一八〇	論教	一八〇	六条家	一八六	連理秘抄	一八七・一八八	論文	一八〇	論文	一八〇

【ワ】
 ワイズワード 一八五
 ワイルド 一八四
 和解 一八三
 若い詩人の肖像 一八二
 若い人 一八一
 若きウエルテの悩み 一八〇
 和歌四品 一七九
 和歌地図 一七八
 和歌地圖 わが塔はそこに立つ 一七七
 若葉集 一七六

[illegible]

【ア行】

[illegible][illegible][illegible][illegible][illegible]

[illegible]